

くるめ支え合うプランでは、「**支え合うところあふれるまち くるめ**」をめざし、「関係を豊かにする」「寄り添う体制を整える」「地域をともに創る人を育む」の3つ大きな取り組み方針を掲げています。これらに沿った地域で実践されている取り組みをご紹介します。



くるめ支え合うプラン

美助っ人みずま × こども食堂

三潞校区

三潞校区には、可能な範囲で地域住民の困りごとの解決を図る「美助っ人みずま」という生活支援団体があります。団体が発足してから相談の大半は環境整備などの力仕事で、会員が活躍する機会が限られていました。

「会員みんなが活躍できる場をつくろう」「こどもたちは夏休みの昼食をどうしているのだろう」といった意見を受け、美助っ人みずまで「試しにやってみよう」と、夏休みにこども食堂を開催されました。

当日はこどもから大人まで84人が参加され、地元の有志からいただいた食材を使った美味しいカレーを食べながらにぎやかな時間を過ごされました。美助っ人みずまでは、地域で安心して生活できるような取り組みを「まずやってみよう!」と実践されています。



NPO法人 × 地域貢献

大善寺校区



「住み慣れた地域で安心して、いつまでも暮らしたい」という声に寄り添い、「共に笑い、共に生きる」を合言葉にデイサービスを運営している「NPO法人さわか大善寺」さん。

地域住民の介護予防や認知機能低下の予防のために、法人として地域に貢献できることはないかと、日々模索されています。一人暮らしの高齢者の増加や免許返納後の移動などに課題感を持たれ、介護現場の現状等を支え合い推進会議で発信されています。

また、支え合い推進会議で知った地域の現状や、サービス利用者の様子から、“地域で〇〇があれば、自宅で生き生きと暮らしていけるのでは”という思いで、実際に認知症カフェに取り組んだり、生活のちょっとした困りごとを解決できる仕組みづくりについて、まずは先進事例を地域住民と一緒に学ぶなど、具体的な行動が始まっています。